

# 眼鏡のフレームの輸出

～鯖江生まれ、関空巣立ち～

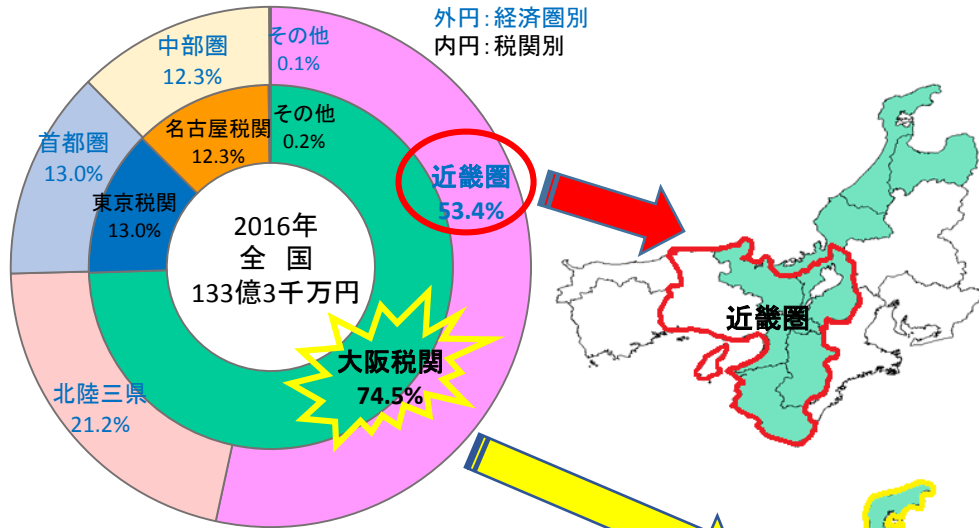
平成29年12月18日  
大阪税関



最近では、スマートフォンの長時間使用による「スマホ老眼」や「スマホ近眼」が増加していると言われていますが、1月3日は「瞳の日」というのをご存じでしょうか。「1(ひと)3(み)」の語呂合わせから、眼鏡・コンタクトレンズの業界が制定したとのことです。その他にも、1月21日は「瞳の黄金比率の日」として日本記念日協会に認定されています。今回は、「瞳」に関するものから、「眼鏡のフレーム」の輸出について特集しました。

眼鏡のフレームの全国の輸出金額は、1992年をピークに徐々に減少していましたが、2012年を底に少しずつ増加し始めています。そこには、どのような背景があるのでしょうか。

## 【経済圏別・税関別】金額構成比



(注1)本特集における「眼鏡のフレーム」は、統計品目番号9003.11号「眼鏡のフレーム(プラスチック製のもの)」及び9003.19号「眼鏡のフレーム(その他の材料製のもの)」に分類されるものを集計しています。

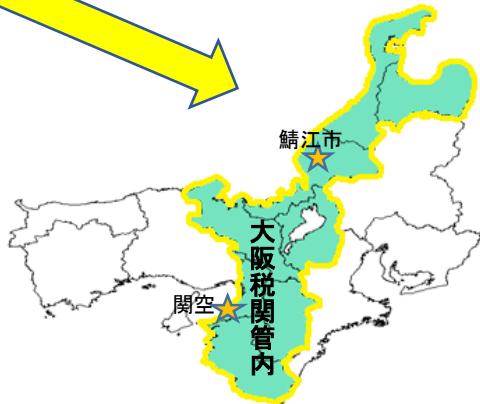
(注2)本特集における経済圏は以下の都府県を含むものです。

◎近畿圏：大阪、京都、兵庫、和歌山、奈良、滋賀の2府4県

◎北陸三県：福井、石川、富山の3県

◎首都圏：東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県

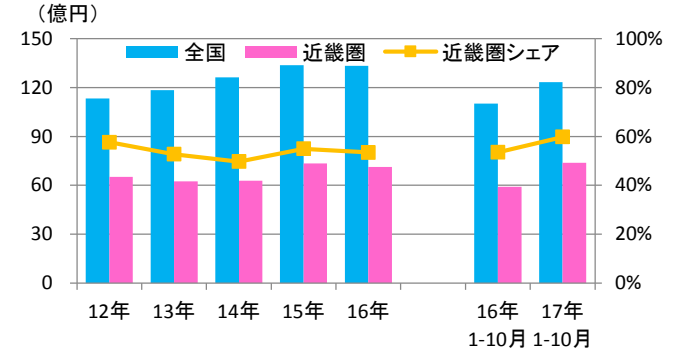
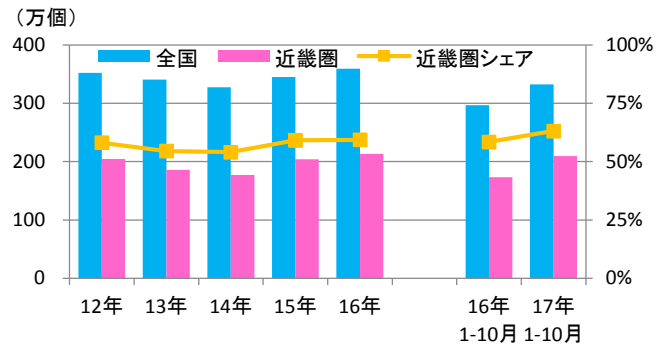
◎中部圏：愛知、岐阜、三重、長野、静岡の5県



◎大阪税関管内：大阪、京都、和歌山、奈良、滋賀、福井、石川、富山の2府6県

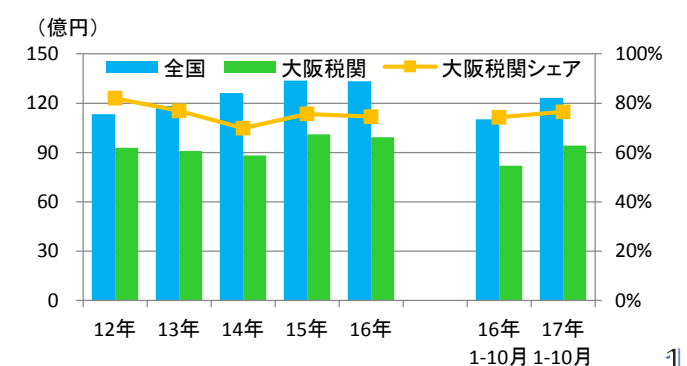
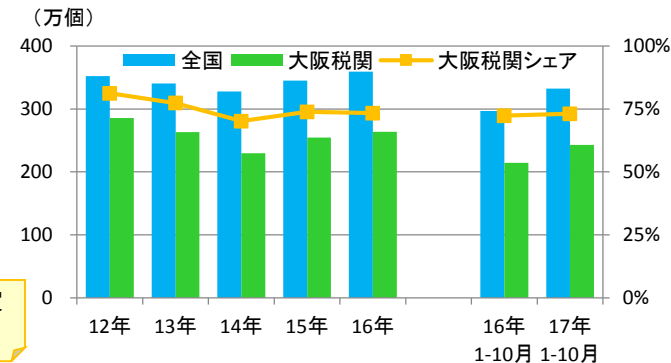
## G【全国・近畿圏】数量・金額推移

近畿圏における数量・金額の全国比は、比較可能な1988年以降、およそ50%を超え、常にシェアトップをキープしています。2016年の輸出金額の全国比においては、近畿圏が53.4%となっています。



## G【全国・大阪税関】数量・金額推移

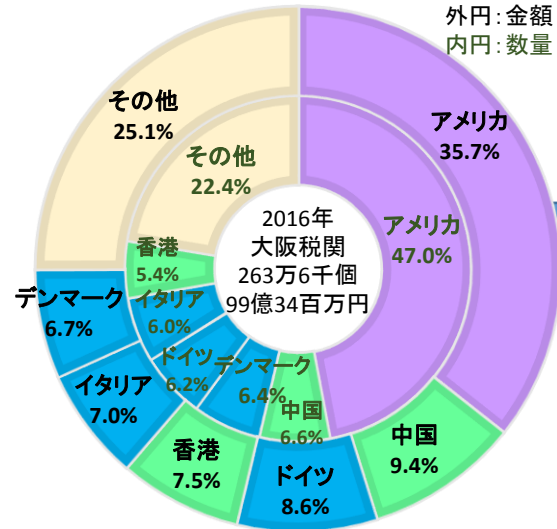
税関別の金額の構成比を見ると、大阪税関が74.5%、東京税関が13.0%、名古屋税関が12.3%の順となっており、1988年以降、全国比70%を超えています。その背景として、大阪税関には「めがねのまち」として有名な福井県鯖江市を管轄とする福井出張所があり、福井県から関西空港などへ輸送され、世界各国へ輸出されています。



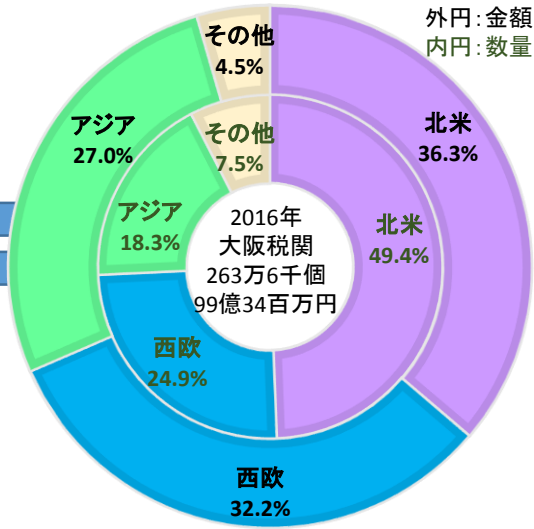
## 60【大阪税関】地域・国別構成比

2016年の大阪税関管内の国別構成比は、金額では、アメリカが35.7%、中国が9.4%、ドイツが8.6%の順となり、数量では、アメリカが47.0%、中国が6.6%、デンマークが6.4%の順となっています。業界によると、アメリカやヨーロッパ向けの輸出が多い理由として、デザイン性と機能性を両立した高い技術力と日本製への信頼から、海外の有名ブランドからの受託生産（OEM生産）が多く、日本の各メーカーの自社ブランドの完成度の高さも評価されているとのことです。アジアにおいても、富裕層向けの高機能、高品質で豪華なデザインのものが特に受け入れられているとのことです。

### 【大阪税関】国別構成比

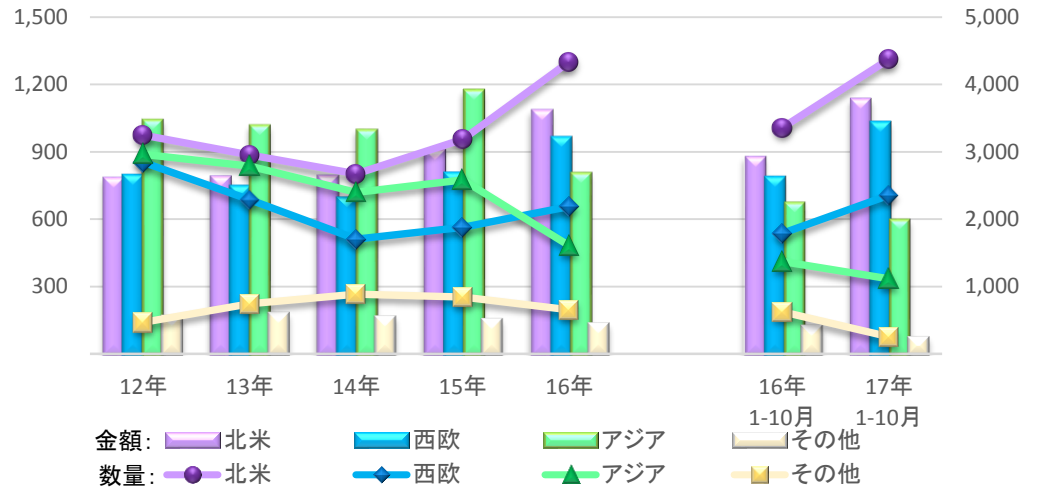


### 【大阪税関】地域別構成比



(千個)

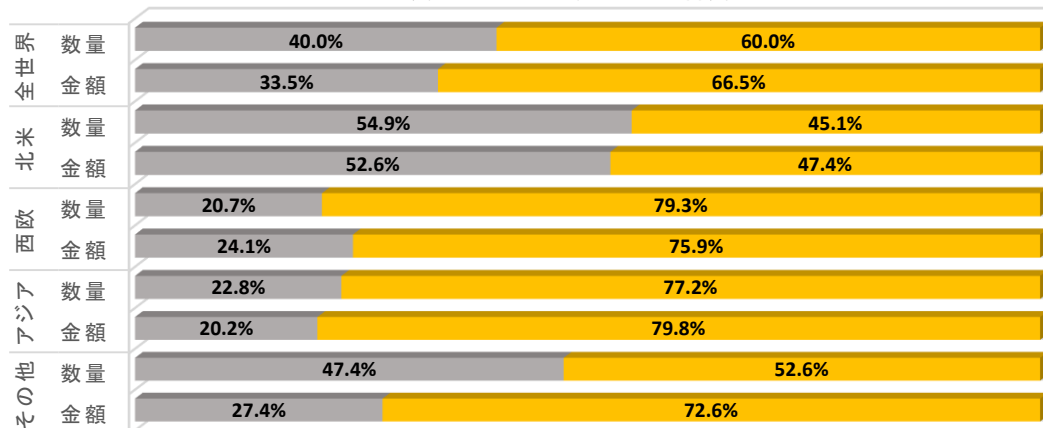
### 【大阪税関】地域別／金額・数量推移



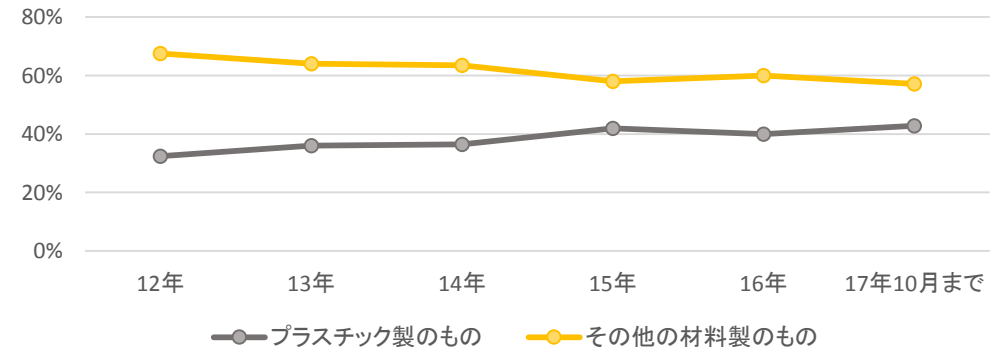
## 60【大阪税関】材料別構成比

輸出されている眼鏡フレームを材料別で見ると、2016年の大阪税関管内の数量ベースでは、プラスチック製のものが40.0%、その他の材料製のものが60.0%となっています。その他の材料としては、「チタン」が多く使われているとのことです。

■ プラスチック製のもの ■ その他の材料製のもの

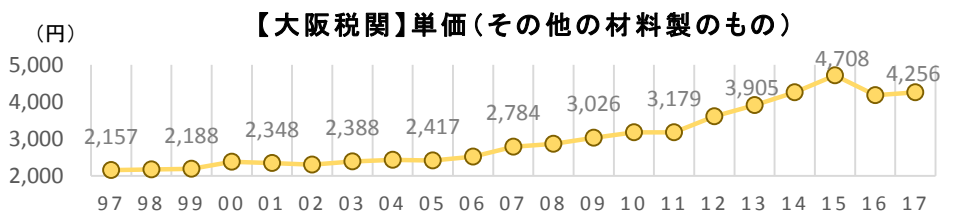
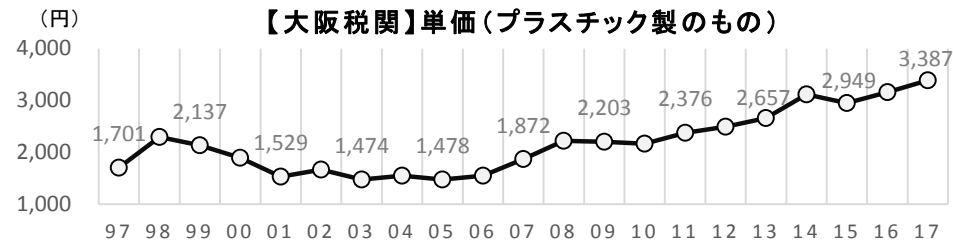
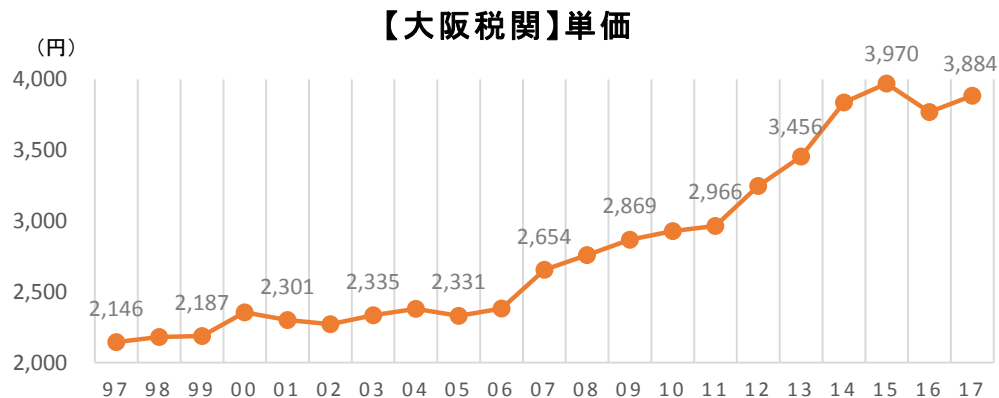


### 【大阪税関】材料別・数量構成比推移



## 【大阪税関】単価推移

過去20年の単価推移をみると、徐々に上昇しています(2017年は10月までの数量・金額から算出)。業界によると、近年では、アジア諸国で作られる製品の品質も向上し、競争が激化しているなか、日本製の精巧で微細な技にこだわった高い技術力と洗練されたデザイン性の高価格製品が海外で認められた結果とみています。



## 【鯖江市について】

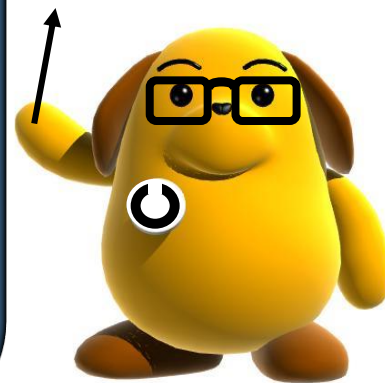
国内における眼鏡フレームの福井県の全国比は、産出事業所数が89.2%、品目別出荷金額では96.7%を誇り(平成26年工業統計調査(経済産業省)による。)、世界でも、イタリア・中国とともに「世界3大眼鏡生産地」と言われています。

福井県の中でも、「めがねのまち」として有名なのが鯖江市です。鯖江市における眼鏡フレーム製造の歴史は、明治38年に農閑期の冬場の安定収入にと、当時眼鏡作りが盛んであった大阪や東京から職人を招いて眼鏡の製造技術を伝えたことが始まりといわれています。昭和50年代の終わりごろには、世界で初めてチタン金属を用いた眼鏡フレームの製造技術の確立に成功し、軽量かつ耐久性に優れるチタンは、金属アレルギーを起こしにくい素材であることから、人体に優しい眼鏡として世界に広がっています。また、製品開発から宣伝・販売に至るまで、一貫して産地企業が行うことで、これまでの「作る産地」から「売る産地」への転換を目指しています。

(鯖江市役所ホームページより)

## 【おわりに】

眼鏡は本来、視力低下の矯正を目的とした実用性のある商品として、必要とする人にはなくてはならないものでしたが、ファッションアイテムとしての眼鏡や、スマートフォンやパソコンのブルーライトカット眼鏡など、視力矯正とは異なる機能を付与することにより、より多くの人に利用されるようになりました。一時期は、海外の安価な製品に押され気味でしたが、世界各国の人々の骨格に合わせた形状に加工するなど眼鏡のかけ心地や耐久性にこだわり、より完成度の高いものを作り続けた結果、世界でも「MADE IN JAPAN」が認められ、輸出を伸ばしています。業界としては、今後も世界市場を意識した製品の企画・開発に力を注ぎ、国際的な展示会への出展や、国内の直営店において訪日観光客への積極的な対応に取り組んでいくとのことです。



【データ集】

【全国  
近畿圏・大阪税関】

数量・金額推移

年	全 国				近 畿 圏						大 阪 税 関					
	数量		金額		数量			金額			数量			金額		
	個	前年比	千円	前年比	個	前年比	全国比	千円	前年比	全国比	個	前年比	全国比	千円	前年比	全国比
2012年	3,520,020	86.8%	11,322,175	93.3%	2,045,269	80.0%	58.1%	6,521,714	88.7%	57.6%	2,857,759	83.6%	81.2%	9,281,178	91.6%	82.0%
2013年	3,405,184	96.7%	11,837,706	104.6%	1,857,353	90.8%	54.5%	6,239,261	95.7%	52.7%	2,632,493	92.1%	77.3%	9,096,921	98.0%	76.8%
2014年	3,276,224	96.2%	12,620,745	106.6%	1,769,935	95.3%	54.0%	6,272,829	100.5%	49.7%	2,298,436	87.3%	70.2%	8,818,439	96.9%	69.9%
2015年	3,449,530	105.3%	13,367,055	105.9%	2,039,624	115.2%	59.1%	7,346,934	117.1%	55.0%	2,547,277	110.8%	73.8%	10,113,593	114.7%	75.7%
2016年	3,593,647	104.2%	13,330,041	99.7%	2,131,171	104.5%	59.3%	7,119,777	96.9%	53.4%	2,636,265	103.5%	73.4%	9,934,070	98.2%	74.5%
2016年1～10月	2,965,681	103.5%	11,022,380	99.6%	1,733,415	101.0%	58.4%	5,900,690	95.9%	53.5%	2,143,925	100.3%	72.3%	8,189,578	97.1%	74.3%
2017年1～10月	3,323,178	112.1%	12,329,727	111.9%	2,097,577	121.0%	63.1%	7,374,374	125.0%	59.8%	2,428,811	113.3%	73.1%	9,433,095	115.2%	76.5%

【経済圏別・税関別】

数量・金額

2016年	数量		金額	
	個	全国比	千円	全国比
近畿圏	2,131,171	59.3%	7,119,777	53.4%
北陸三県	521,814	14.5%	2,827,809	21.2%
(大阪税関)	2,636,265	73.4%	9,934,070	74.5%
(神戸税関)	16,720	0.5%	13,516	0.1%
首都圏	600,804	16.7%	1,734,401	13.0%
中部圏	338,047	9.4%	1,636,959	12.3%
その他	1,811	0.1%	11,095	0.1%
全国	3,593,647	100.0%	13,330,041	100.0%

【大阪税関】

地域・国別／数量・金額

年	数量(個)／構成比								金額(千円)／構成比							
	北米		西欧		アジア		その他		北米		西欧		アジア		その他	
2012年	974,687	34.1%	853,607	29.9%	889,657	31.1%	139,808	4.9%	2,610,398	28.1%	2,648,523	28.5%	3,469,780	37.4%	552,477	6.0%
2013年	886,625	33.7%	685,910	26.1%	836,264	31.8%	223,694	8.5%	2,628,375	28.9%	2,486,574	27.3%	3,387,990	37.2%	593,982	6.5%
2014年	802,572	34.9%	510,424	22.2%	719,890	31.3%	265,550	11.6%	2,639,699	29.9%	2,313,893	26.2%	3,323,129	37.7%	541,718	6.1%
2015年	955,443	37.5%	563,549	22.1%	775,523	30.4%	252,762	9.9%	3,015,562	29.8%	2,681,299	26.5%	3,912,721	38.7%	504,011	5.0%
2016年	1,302,437	49.4%	656,058	24.9%	481,212	18.3%	196,558	7.5%	3,601,453	36.3%	3,202,776	32.2%	2,687,077	27.0%	442,764	4.5%
2016年1～10月	1,007,912	47.0%	536,989	25.0%	411,044	19.2%	187,980	8.8%	2,914,936	35.6%	2,617,116	32.0%	2,247,254	27.4%	410,272	5.0%
2017年1～10月	1,312,090	54.0%	706,264	29.1%	334,525	13.8%	75,932	3.1%	3,769,001	40.0%	3,425,567	36.3%	1,996,069	21.2%	242,458	2.6%

2016年	数量		金額	
	個	構成比	千円	構成比
アメリカ合衆国	1,240,105	47.0%	3,546,606	35.7%
中華人民共和国	174,854	6.6%	936,820	9.4%
ドイツ	163,528	6.2%	857,561	8.6%
香港	141,480	5.4%	749,372	7.5%
イタリア	158,069	6.0%	691,494	7.0%
デンマーク	168,515	6.4%	663,107	6.7%
その他	589,714	22.4%	2,489,110	25.1%
全世界	2,636,265	100.0%	9,934,070	100.0%

【大阪税関】

材料別／数量・金額

2016年		プラスチック製のもの	その他の材料製のもの
全世界	数量(個)／構成比	1,053,552	40.0%
	金額(千円)／構成比	3,327,211	33.5%
北米	数量(個)／構成比	715,067	54.9%
	金額(千円)／構成比	1,892,774	52.6%
西欧	数量(個)／構成比	135,568	20.7%
	金額(千円)／構成比	771,635	24.1%
アジア	数量(個)／構成比	109,775	22.8%
	金額(千円)／構成比	541,675	20.2%
その他	数量(個)／構成比	93,142	47.4%
	金額(千円)／構成比	121,127	27.4%

年	プラスチック製のもの		その他の材料製のもの	
	数量(個)	構成比	数量(個)	構成比
2012年	926,857	32.4%	1,930,902	67.6%
2013年	947,644	36.0%	1,684,849	64.0%
2014年	837,666	36.4%	1,460,770	63.6%
2015年	1,068,584	42.0%	1,478,693	58.0%
2016年	1,053,552	40.0%	1,582,713	60.0%
2017年	1,039,472	42.8%	1,389,339	57.2%

※2017年は10月まで

※本資料を他に転載するときは、大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

※本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課まで。(電話06-6966-5385)

大阪税関ホームページ(<http://www.customs.go.jp/osaka/>)

【大阪税関】

単価

年		1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
単価 (円/個)	全体	2,146	2,181	2,187	2,355	2,301	2,272	2,335	2,380	2,331	2,381	2,654	2,760	2,869	2,928	2,966	3,248	3,456	3,837	3,970	3,768	3,884
	プラスチック製のもの	1,701	2,298	2,137	1,894	1,529	1,666	1,474	1,551	1,478	1,547	1,872	2,221	2,203	2,166	2,376	2,490	2,657	3,113	2,949	3,158	3,387
	その他の材料製のもの	2,157	2,178	2,188	2,380	2,348	2,306	2,388	2,435	2,417	2,520	2,784	2,867	3,026	3,171	3,179	3,611	3,905	4,251	4,708	4,174	4,256

※2017年は10月まで